

令和 2 年度 国語科

|       |   |    |      |     |   |    |   |
|-------|---|----|------|-----|---|----|---|
| 教科    | 国語科   | 科目 | 現代文B | 単位数 | 2 | 年次 | 3 |
| 使用教科書 | 改定版 現代文B (第一学習社)  |    |      |     |   |    |   |
| 副教材等  | カラー版 新国語便覧 新装三訂 (第一学習社)<br>大学入試に出た 核心漢字 2500+ 語彙 1000 (尚文出版)<br>新版三訂 ニューエイジ現代文 完成3 (第一学習社)<br>現代文センター試験国語過去問題平成 22~31 年本試験・追試験(尚文出版)<br>大学入学 共通テスト演習 現代文 (いっずな書店) |    |      |     |   |    |   |

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

現代文Bでは主に近代以降の様々な文章を教材として扱っていきます。授業では「メディア」・「言語」・「科学」・「芸術」・「文学」・「社会」などの幅広いテーマを学習します。大学入試では読解力を問われるとともに、様々な知識も求められます。そのために現代文Bでは文章を正確に理解する能力を高めるとともに、論理的な思考力、豊かな想像力を身につけることを目標とします。また、正確に読み取りをしたうえで、正確に書く能力をしっかりと身につけることを目指します。そのためには言語感覚を磨くとともに、語彙力を養成することが必要となります。普段から漢字の書き取り・読み取りを意識的に行うとともに、言葉の意味についてもわからない言葉と出会ったときは、こまめに辞書を引いて調べることを心がけましょう。

2 学習の到達目標

- ・近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。
- ・近代以降の様々な文章を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
- ・進んで表現し読書することによって国語の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点    | a:関心・意欲・態度                                   | b:話す・聞く能力                                     | c:書く能力   | d:読む能力  | e:知識・理解   |
|-------|--|---|--|---|---|
| 観点の趣旨 | 国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 | 目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。 | 近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。         |
| 評価方法  | 行動の観察<br>記述の点検<br>(ノート、ワークシート等)              | 行動の観察<br>記述の点検<br>(ノート、ワークシート等)               | 記述の確認及び分析(ノート、小テスト、問題集等)                             | 記述の確認及び分析(ノート、ワークシート)<br>定期考査                       | 行動の観察<br>記述の点検<br>(ノート、ワークシート等)<br>定期考査<br>小テスト |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容                    | 主な評価の観点 |   |   |   |   | 単元(題材)の評価規準  | 評価方法   |
|----|-----|-------------------------|---------|---|---|---|---|--|--|
|    |     |                         | a       | b | c | d | e |  |  |
| 4月 | 評論  | 教材:<br>「目に見える制度と見えない制度」 | ○       | ○ |   | ◎ |   | a: 範読・音読・指名読みの態度は積極的か。<br>b: 「制度」や「法律」について話合うことができるか。<br>d: 「目に見える制度」と「見えない制度」についてそれぞれの成立事情や特質を理解しているか。  | a: 発問・授業時の反応<br>授業時の反応<br>b: 発問・授業時の活動<br>d: 発問・授業時の活動 |
| 5月 | 小説  | 教材:「舞姫」                 | ○       | ○ | ◎ |   |   | a: 森鷗外や、教材の内容に関心をもっているか。<br>b: 視点や立場を変えて『舞姫』の物語や場面を簡単にリトライトしてみたり、それを相互に発表し合って感想を述べあったりすることができるか。<br>c: 『舞姫』に関する論考を参考に、近代という時代や人間の生き方について知識を深め、自らに引き寄せて考察し、まとめることができるか。 | a: 発問・授業時の反応<br>b: 課題発表・授業時の反応<br>c: ノートへの記入・プリント・発問   |
| 6月 | 評論  | 教材:「言語が見せる世界」           |         |   | ◎ | ○ | ○ | c: 「概念をもっている」ということを本文に沿ってまとめている。<br>d: 評論の読み方に習熟する。<br>e: 「外延」「内包」という語について理解しているか。   | c: ノートへの記入<br>d: 発問・授業時の活動<br>e: 小テスト・プリント             |

|    |    |                                    |   |   |   |   |   |   |   |
|----|----|------------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 6月 | 小説 | 教材:「タオル」                           | ○ |   |   | ◎ | ○ | <p>a:人物・情景・心情などをどうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、表現の効果に気付こうとしている。</p> <p>d: 小説の読み方を習得する。</p>  | <p>a: 行動の観察。</p> <p>d: 記述の確認。</p> <p>e: 定期考査</p>                            |
| 7月 | 詩  | 教材:「足と心」<br>「冬の日」<br>「自然の背後に隠れて居る」 |   | ○ |   |   | ○ | <p>b: 詩を効果的に朗読したり、それを聞きながら情景を的確にとらえたり、表現を味わうことができるか。</p> <p>e: 修辞技巧や言葉の使い方を的確に理解している。</p>   | <p>b: 発問・授業時の活動</p> <p>e: 学習課題の提出</p>                                       |
| 8月 | 評論 | 教材:「いのちのかたち」                       |   | ◎ |   |   | ○ | <p>b: 話し合い活動などを通じて、自分の意見や考えを述べる。</p> <p>d: 「いのち」と「生命」のギャップや生命科学が意味するところについての筆者の考えを把握する。</p>   | <p>b: 発問・授業時の活動</p> <p>d: 記述の確認</p>   |
| 9月 | 小説 | 教材:「檸檬」                            | ○ |   | ◎ |   | ○ | <p>a: 梶井基次郎や、教材の内容に関心を持っているか。</p> <p>c: 「私」の心理の推移に注目しながら、この小説を読み感じたことや考えたことを800字程度でまとめることができるか。</p> <p>d: 檸檬を手にしたときから手放すまでの「私」の心理の推移をまとめることができるか。</p> <p>e: 語句の意味・用法を理解しているか。</p> | <p>a: 発問・授業時の反応</p> <p>c: ノートへの記入</p> <p>d: 発問・定期考査</p> <p>e: 小テスト・プリント</p> |

|     |    |                |   |   |  |   |   |   |   |
|-----|----|----------------|---|---|--|---|---|---|---|
| 10月 | 小説 | 教材:「骰子の七の目」    | ○ | ◎ |  | ○ |   | <p>a: 小説の基本的な読み方を習得する。</p> <p>b: 「金の斧、銀の斧、鉄の斧」などの事物が表すものが何かについて意見を交わす。</p> <p>d: 各場面の「若い女」の描写から、「私」の心情の変化を読み取る。</p>             | <p>a: 授業時の反応</p> <p>b: 課題発表・発問評価</p> <p>d: 小テスト・プリント</p>                  |
| 11月 | 評論 | 教材:「リスク社会とは何か」 | ○ |   |  | ◎ | ○ | <p>a: 評論の読み方に習熟する。</p> <p>d: 「リスク」が一般化する背景を正しく読み取る。</p> <p>e: リスク社会における「リスク」が及ぼす影響について、自分が生きる社会の問題に当てはめて考察する。</p>               | <p>a: 発問・授業時の反応</p> <p>d: 発問授業時の活動</p> <p>e: 小テスト・プリント</p>                |
| 12月 | 評論 | 教材:「現代日本の開花」   | ○ | ○ |  | ◎ | ○ | <p>a: まとまった分量のある評論を読解する。</p> <p>b: 話し合い活動などを通じて、自分の意見や考えを述べる。</p> <p>d: 「日本の開花」の特徴について正しく理解する。</p> <p>e: 講演当時の歴史的背景について調べる。</p> | <p>a: 行動の観察</p> <p>b: 発問・授業時の活動</p> <p>d: 発問・定期考査</p> <p>e: 小テスト・プリント</p> |
| 1月  | 小説 | 教材:「枯野抄」       | ○ |   |  | ◎ | ○ | <p>a: 芥川龍之介や教材の内容に関心を持っているか。</p> <p>d: 人間の心理について考えを深める。</p> <p>e: 語句の意味・用法を理解しているか。</p>   | <p>a: 発問・授業時の反応</p> <p>d: 発問・定期考査</p> <p>e: 小テスト・プリント</p>                 |

|    |    |                     |   |   |  |   |   |   |  |
|----|----|---------------------|---|---|--|---|---|---|--|
| 2月 | 評論 | 教材：<br>「であることとすること」 | ○ | ○ |  | ◎ | ○ | a：まとまった分量のある評論を読解する。<br>b：話し合い活動などを通じて、自分の意見や考えを述べる。<br>d：「『である』論理」と「『する』論理」の違いを正しく理解する。<br>e：「『である』こと」と「『する』こと」について、自身の価値観に引きつけて考える。 | a：発問・授業時の反応<br>授業時の反応<br>b：発問・授業時の活動<br>d：発問・授業時の反応<br>e：学習課題の提出 |
|----|----|---------------------|---|---|--|---|---|---|--|

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度                      b:話す・聞く能力  
c:書く能力                      d:読む能力                      e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、全ての観点に位置づけて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関する観点には◎印を付けている。